

教育親善野球大会 競技細則

改定第5版 平成29年9月10日

神奈川県少年教育親善野球連盟

- (1) 試合実行に関する統制は当連盟本部にて行う。
- (2) ベンチは、組み合わせの若い番号チームを1塁側とする。
- (3) 試合球は、公認試合球ケンコーボールC号（新意匠）を使用する。
ブロック戦は、各チームが試合に先立ち2個をメンバー表と共に担当球審に提出する。
本部大会においてのボールは当連盟本部で準備する。
- (4) 攻守に係わりなく、1塁側へ飛んだファールボールは1塁側が、又3塁側へ飛んだファールボールは3塁側が速やかに処理して主審に渡して下さい。（ネット裏のボールは攻撃側チームが処理をする）
- (5) 試合前のシートノックは、後攻チームより各5分間とする。（時間の都合により無い場合もあります）
- (6) 相手チームを誹謗したり、やじってはならない。
- (7) 投手の投球練習は、初回5球、2回目より3球以内とする。
（キャッチャーは必ずマスクを着用すること）
- (8) ベンチ入りの監督・コーチはユニホームの着用を原則とし、マナー第一主義を忘れぬこと。
- (9) 抗議権は監督（代理監督を含め当日試合のメンバー表に記載）と当該選手のみとする。
- (10) 攻守交代は敏速に行う。打者は速やかに打席に入ること。
- (11) 選手の危険防止及び健康管理には各チームの責任者が充分留意して下さい。
本大会中に於ける事故の責任に対して本部は一切関知しません。
（スポーツ保険に加入していない選手の出場は認められません）
- (12) 1塁へのスライディングは危険防止のため禁止とします。（塁上を駆け抜けるよう指導して下さい）
- (13) ヘルメットは打者・走者はもとよりランナー・コッチャーも必ず着用すること。
- (14) ブロック戦で勝率が同率の場合は、プレーオフで順位を決定する。
但し、同率チームが3チーム以上の場合は、組み合わせ抽選によるプレーオフで順位を決定する。
- (15) 審判は試合状況に応じ、主催者及びブロック長より協力を要請された場合、これに協力して下さい。
- (16) 試合時間
ブロック戦は1時間20分とし、これを超えて新しいイニングに入らない。
本部大会では7回戦・1時間30分とし、これを超えて新しいイニングに入らない。
決勝戦は時間に関係なく7回戦とする。
- (17) 投捕間距離・塁間距離（ブロック戦・本部大会共に）
春季・秋季大会共に投捕間距離は16m、塁間距離は23mとする。
- (18) ボークの取り扱い
ブロック戦・本部大会共にボークは1回目から適用する。
- (19) コールドゲーム
ブロック戦・本部大会共に3回以降10点差、5回以降7点差とする。
但し、決勝戦に於いてはコールドゲームを採用せず7回戦とする。
日没及び降雨コールドの場合は4回の裏終了時点でゲーム成立とする。
- (20) ブロック戦・本部大会共に同点延長の場合『特別ルール』として、無死走者満塁、打者は前イニングよりの継続とし、3塁走者は前々々打者、2塁走者は前々打者、1塁走者は前打者としての攻撃とする。
（この場合攻撃側、守備側とも前イニングの守備攻撃メンバーで行う）
但し、1イニングで決着がつかない場合は、抽選にて勝敗を決定する。
- (21) 雨天の場合の連絡は、ブロック戦はブロック長から、本部大会に於いては本部事務局より連絡する。

付則 ブロック戦に於いて1試合でも棄権のあったチームは本部大会への出場権を失う。